



桐生 9秒98

男子100、日本人初

陸上男子の桐生祥秀(21)が9日、福井県営陸上競技場で行われた日本学生対校選手権の100メートル決勝で9秒98の日本新記録を樹立し、日本人で初めて「10秒の壁」を破った。五輪の花形種目で、日本勢の長年の夢だった領域に足を踏み入れた。追い風1・8メートルだった。

100分の1秒まで表示する現行の電気計時では1968年にジム・ハインズ(米国)が9秒95で走り、世界で初めて10秒を切った。日本人は49年遅れで悲願の9秒台突入となった。

日本勢は伊東浩司が98年アジア大会で日本記録を10秒00に更新したが、その後は足踏みが続いた。桐生は京都・洛南高3年だった2013年に10秒01。一昨年には追い風参考で9秒87をマークしたが、公認記録での9秒台には届いていなかった。

世界記録はウサイン・ボルト(ジャマイカ)が09年世界選手権で刻んだ9秒58。中国勢では一昨年、蘇炳添が9秒99で走った。日本陸上競技連盟が認めた最初の日本記録は三島弥彦が1911年に出した12秒0。そこから106年を要し、新たな時代に突入した。

桐生祥秀(きりゅう・よしひで) 京都・洛南高3年時の2013年に男子100メートルで日本歴代2位の10秒01。16年リオデジャネイロ五輪400メートルリレー銀メダル。東洋大。176センチ、70キロ。21歳。滋賀県出身。

■陸上男子100メートル日本記録の変遷

| 記録 | 名前 | 所属 | |
|-------|------|---------|-------------|
| 10秒27 | 宮田英明 | (東農大二高) | 1990年10月22日 |
| 10秒20 | 井上 悟 | (日大) | 91年5月17日 |
| 10秒19 | 朝原宣治 | (同大) | 93年10月26日 |
| 10秒14 | 朝原宣治 | (大阪ガス) | 96年6月9日 |
| 10秒08 | 朝原宣治 | (大阪ガス) | 97年7月2日 |
| 10秒00 | 伊東浩司 | (富士通) | 98年12月13日 |
| 9秒98 | 桐生祥秀 | (東洋大) | 2017年9月9日 |

(注) 所属は記録達成時。記録は1990年以降。タイ記録は除く



日本学生対校選手権の男子100メートル決勝で9秒98の日本新記録をマークし、雄たけびを上げる桐生祥秀
＝9日、福井県営陸上競技場